



町議会だより

お・お・な・ん

No. 65

2019・4・15
(H31)



茅葺き屋根が完成したよ

日貫・山崎邸 改修工事完了

屋根の葺き替え作業を日貫小の子どもたちもお手伝い

3月
定例会
特集

今月の
注目！

- 31年度当初予算可決 (2)
- 三江線資産取得 議論白熱 (5)

14億5500万円



予算審査ではいつになく多くの質疑が出ました

3月定例会

つなげ！民の力へ 町民との協働でまちづくりを推進

3月定例会を3月4日から15日までの12日間にわたって開催しました。
平成31年度予算については、連合常任委員会において慎重に審議しました。
町長提案の46議案および発委1議案の計47議案をすべて全員賛成で可決しました。
一般会計予算は前年度比700万円の増額となり、114億5500万円を可決しました。

予算編成のテーマ

平成31年度当初予算は、テーマを「つなげ！民の力へ」とし、行財政改善計画の着実な実行をめざしながら、町内の事業所や団体、地域組織等とこれまで以上に協働し、まちづくりを推進していきます。

8つの重点項目

- 邑南町総合戦略の総仕上げに向けてラストスパート
- しごとづくりセンターの機能をフル活用し、経済循環の向上に結びつける
- 定住支援に向けた住まいの確保
- 羽須美地域のにぎわいを創出する事業の検討
- 森林資源の活用と森林保全活動の実施
- 遊休地の活用
- ふるさと寄附の強化
- 道の駅瑞穂再整備事業の検討・実施

31年度当初予算

一般会計当初予算は合計114億5500万円で、前年度と比較して700万円、率にして0.1%増となっています。

一般会計と国民健康保険事業、国民健康保険直営診療所事業、後期高齢者医療事業、下水道事業、電気通信事業の5つの特別会計との合計額は、147億円となり、対前年度比では0.3%増となっています。

31年度 一般会計

前年度比0.1%増

1

当初予算での
おもな事業

- 防災無線更新事業費
… 3億3337万円
 - いわみスタジアムスコアボード整備事業費
… 6647万円
 - 可燃ごみ処理施設整備事業費(総合事務組合負担金)
… 2億8417万円
 - 道路新設改良費
… 1億5103万円
 - 石見東小改修事業費
… 3546万円
 - 地区別戦略実現事業費
… 5086万円
- などがおもな事業費としてあげられます。

財政調整基金
より繰り入れ

町の財政状況が厳しい中、邑智郡総合事務組合負担金、直営診療所事業特別会計繰出金などの増額に対応するため、財政調整基金より1億1647万円繰り入れています。

平成31年度一般会計 及び公営事業会計の当初予算

	予算		前年度比較増減	増減率(%)	基金(積立基金)残高見込		町債(借入金)残高見込	
	平成30年度	平成31年度			平成30年度末	平成31年度末	平成30年度末	平成31年度末
一般会計	114億 4800万円	114億 5500万円	700万円	0.1%	47億 4491万円	44億 9990万円	127億 3916万円	129億 1337万円
国民健康保険	14億 100万円	13億 7900万円	△2200万円	△1.6%	7293万円	6655万円	0万円	0万円
直営診療所	6500万円	1億 300万円	3800万円	58.5%	0万円	0万円	2億 500万円	2億 500万円
後期高齢者医療	3億 6200万円	3億 5400万円	△800万円	△2.2%	0万円	0万円	0万円	0万円
下水道	9億 1400万円	9億 5100万円	3700万円	4.0%	6706万円	6707万円	56億 9141万円	53億 6851万円
電気通信	4億 6300万円	4億 5800万円	△500万円	△1.1%	1億 71万円	8083万円	4億 5038万円	2億 6757万円
特別会計合計	32億 500万円	32億 4500万円	4000万円	1.2%	2億 4070万円	2億 1445万円	63億 4679万円	58億 4108万円
総合計	146億 5300万円	147億 0万円	4700万円	0.3%	49億 8561万円	47億 1435万円	190億 8595万円	187億 5445万円

※千円以下を四捨五入で表記しているため、実際の額と差異が生じています。

平成31年度水道事業会計(公営企業法適用)の当初予算

	予算		前年度比較増減	増減率(%)	町債(借入金)残高見込	
	平成30年度	平成31年度			平成30年度末	平成31年度末
収益的支出	4億 6269万円	4億 5636万円	△633万円	△1.4%	31億 6042万円	30億 8783万円
資本的支出	4億 9888万円	5億 6551万円	6663万円	13.4%		
支出合計	9億 6157万円	10億 2187万円	6030万円	6.3%		

※千円以下を四捨五入で表記しているため、実際の額と差異が生じています。

3月議会

おもなトピックス

行財政改善実施計画 示される

議会として今後を注視

基本計画となる行財政改善計画の重点事項に關し、具体的な行動計画について定め実行することを目的として、行財政改善実施計画が示されました。

この実施計画は各項目について適時作成し見直しを行いながら進めていくとされています。

また具体的な内容の記述がされていない項目もありますが、今後作成していくものです。

主な項目は、

●事務事業の見直し

目標 平成32年度

●補助金等の整理合理化

目標 平成32年度

●固定資産税全期前納報

奨金の廃止

平成31年度より廃止。

む。

●公共施設の整理合理化
長寿命化計画、10%削減計画を策定する。

平成32年度～33年度

●施設のあり方の見直し
目標年度 平成32年度

●組織・機構の見直し
目標年度 平成31年度

32年度 平成31年度は課の再編で1課減少。

●定員管理の適正化

平成30年度より10年間で、行政のスリム化をめざす。

●給与制度の適正化

平成34年度を目標に適正な水準を維持する。

●町民への情報提供

平成31年度より行財政改善の進捗と効果等をわかりやすく公表する手段を検討する。



1課廃止となり2課名称変更
定住促進課は地域みらい課に

道の駅瑞穂再整備計画 今後のスケジュール



老朽化と駐車場不足が課題の道の駅瑞穂

本設計を作成します。

基本設計では、各種法令や基準にもとづき、アクセス道路、駐車場、建築物などの各施設の構造、工法、材質、設備等について、詳細な検討を行います。

その検討をもとに、配置や間取り、外観デザイン等を決定し、基本設計図の作成と概算工事費の算定を行います。

基本設計の策定においては、事前に地元説明会を行い、そののちに業務を発注することとします。

また、新たに検討委員会を設ける予定です。

今後は、地元住民や産直市関係者、地権者、関係機関や道路管理者と密に相談しながら、事業を進めていきます。

平成29年度より取り組んできた道の駅瑞穂再整備計画の進捗状況と今後のスケジュールについて、執行部より議会に説明がありました。

30年度には基本計画を策定し、国からの補助金により周辺調査を実施しました。

31年度は、基本計画で設定した需要予測や各施設の配置等をもとに、基

三江線資産取得 議員間討議で激論

3月定例会の冒頭、町長施政方針の中で、三江線鉄道資産を取得する方針が示されました。

町は、JR西日本に対し、資産譲渡依頼書を提出し、取得に向けた本格的な手続きを進めようとするものです。

このことは、町内で賛否が分かれることでもあり、執行部からの説明を受けた後、議員間討議を行ない、議会としての方針を明らかにしました。

以下は、各議員から出た意見の要旨です。



宇都井駅でのトロッコ実証実験

●民間が提案したレールパーク構想を、石橋町長が将来的に次期のまち・ひと・しごと創生戦略ととらえ、地域、関係人口、行政、JR西日本も含めた展開を考えている。

●羽須美地域の熱意と行動力に敬意を表したい。町も、これをバックアップすべきだ。

●負の遺産になるという心配は、情報が町民に伝わっていないことが原因だ。この施設は、町の観光振興に役立つと考え、賛成する。

●町の元気につながるものと期待する。取得して、前に進むことを望む。

●口羽周辺は複合的な利活用が可能と思うが、宇都井周辺は疑問が残る。

●今、執行部から示されている内容だけでは、判断が付きにくい。

●町の有効な観光資産として取得し、町全体で動こうという姿勢が見えないところが残念だ。

●町で進める地区別戦略の一番の先進地としてとらえ、地域から盛り上がってきたこの動きを一番大切に考えるべきだ。

●まずは譲渡依頼を出し、大いに検討し、構想を広げてほしい。

●NPOがトロッコを走らせるだけでなく、ほかの観光施設とつなぐ夢が

持てれば、若者たちも賛成してくれるはずだ。

●譲渡依頼書を出し、次の交渉の展開を見極めながら、今後議会で判断する機会はあると思う。

●JRからの支援金は基金として残すべきだ。

●譲渡依頼書を出さなければ話が前に進まない

しづとぐりセンター長 3月末で辞職

当面は月曜日のみ相談実施

議会閉会後の3月22

日、全員協議会を急ぎよ開催し、石橋町長より、しづとぐりセンターの三浦伸太郎センター長が3月末で一身上の都合により辞職するとの報告がありました。

担当課からは、4月以降のセンターの業務について説明がありまし

た。説明の主な内容は、4月以降の相談業務の運営方法と新たなセンター長の選任についてでした。

し、今回出さなければ、今後資産活用などの協議はできなくなってしまう。●住民が本気で、町づくりの勢いが出ているところに對して、ある程度、赤字覚悟でやるのが行政の使命だと考える。

議員間討議終了後、山中議長は議員の意見を添えて、「JRに対する譲渡依頼書の提出」を、議会として承認することを石橋町長に伝えました。

議員からは、「週1回の相談業務で町民の要望にこたえられるのか?」「センター単独ではなく、商工会等との連携した取り組みにすることで突発的な事故に対応できる体制にしては?」「覚悟をもってはじめた事業なので、成果が表れるまでは初志貫徹すべきだ」等の意見が出されました。



討論

議案第42号
平成31年度
邑南町一般会計予算
について

賛成

清水優文議員



予算編成のテーマは「つなげ！民の力へ」とし、重点施策および行財政改善計画の着実な実行をめざしての予算編成とすることである。

以前より指摘しているように、いわみスタジアムに設置してあるスコアボードが故障により使用できない状態であり、各種大会に支障をきたしている現状である。今予算では、現在のスコアボードが修理できない状態に

まで損傷している実態をふまえ、新しいスコアボードを設置するため6600万円あまりの予算が計上されたことを評価している。

いわみスタジアムは矢上高校野球部の使用頻度が最も高いと認識しているが、昨年の島根大会でベスト4に進出し、多くの強豪校から交流試合の申し込みがあると聞いている。

そうした状況を鑑み、修復を希望していたところであり、早期に着工することを期待し、新年度予算に賛成する。

発委

発委1号
邑南町議会委員会条例の一部改正について

議会運営委員会

大屋光宏委員長



議会最終日の3月15日に町長提出の46議案が可決したのち、議会運営委員会より「邑南町議会委員会条例の一部改正について」の発委による議案が追加提案されました。

これは「邑南町課設置条例」を可決し、課を1課廃止し、2課の名称が変更となったため、常任委員会の所管にも変更が生じたことによるものです。

採決の結果、全員賛成

により可決しました。

この改正により、総務教民常任委員会の所管する課は、総務課、財務課、町民課、福祉課、保健課、会計課、学校教育課、生涯学習課となり、産業建設常任委員会の所管する課は、管財課、地域みらい課、農林振興課、商工観光課、建設課、水道課となりました。

三階席

3月定例議会の最大の課題は、旧三江線鉄道資産の問題であった。町長は、議会初日に、口羽駅と宇都井駅一帯の鉄道資産を取得する意思を表明した。決定理由は「総合的」な判断であった。

「総合的に判断した」と言われれば反論が難しい。地元の意向、実証実験結果、JR等々の交渉における雰囲気、町としての今後の振興策など、廃線から今日まで、長く三江線の跡地活用について考えてきた町長にしかわからない理由があったのであろう。

議会としても議員間で、個々の思い、財政面や振興策などさまざまな方面から時間をかけて議論した結果、町長の思いをおおむね支持する雰囲気であった。

今後は、鉄道資産が「夢のある資産」となるようアイデアを出していきたい。

(光宏)



議案の ゆくえ

1月臨時会

ふるさと寄附金が
2500万円追加寄付さ
れ5500万円となる！

1月臨時会を1月21
日に開催しました。

議案は、邑智郡総合
事務組合規約の変更と、
ふるさと寄附金が増額と
なったことによる一般会
計補正予算の2議案で
す。

事務組合規約の変更
内容は、組合の共同処理
する事務から老人保健に
関する事務を削除するこ
とと、大田市からの委託
を受けて、可燃ごみ処理
に関する事務を行うこと
ができるようにすること
の2項目です。

2つの議案とも、全
員賛成で原案どおり可決
しました。

3月定例会

31年度当初予算をはじめ
47議案を可決！

3月定例会を3月4

日から15日までの期間で
開催し、人事案1件、指
定管理者の指定案8件、
条例制定・改正案21件、
町の各種計画の一部変更
案3件、補正予算案7件、
平成31年度当初予算案7
件の47議案を上程し、い
ずれも原案どおり可決し
ました。

特に重要な、31年度
一般会計当初予算案にお
いて、合併特例の普通交
付税が漸減されているこ
と等で歳入が減少し、歳
出では邑智郡総合事務組
合の負担金の増額や、直
営診療所事業への繰り出
し金が増額になること等
をふまえ、財政調整基金
からの繰り入れにより財
源の確保を図っている状
況です。

今後、行財政改善計
画の実施で、財政健全化
を推進していくことが重
要と考えます。

平成30年度 1月・3月補正

※補正額は千円未満で四捨五入しています。

	12月補正後の額	1月補正額	3月補正額	3月補正後の額
一般会計	121億 5746万円	2500万円	△1億 9872万円	119億 8374万円
国民健康保険	14億 4713万円	—	65万円	14億 4779万円
直営診療所	2億 8328万円	—	0万円	2億 8328万円
後期高齢者医療	3億 5895万円	—	1138万円	3億 7033万円
下水道	9億 2406万円	—	△878万円	9億 1529万円
電気通信	4億 7525万円	—	97万円	4億 7622万円
特別会計合計	34億 8868万円	—	422万円	34億 9290万円
総合計	156億 4614万円	2500万円	△1億 9450万円	154億 7664万円

	補正前の額	3月補正額	3月補正後の額
水道事業会計	9億6157万円	△113万円	9億6044万円

1 月 臨 時 会 採 決 の 結 果

○=賛成 ●=反対 - =除斥 欠=欠席

区分	議案の内容	大和	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	大屋	中村	日野原	清水	辰田	亀山	石橋	三上	結果
その他	邑智郡総合事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	平成30年度町一般会計補正予算第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

3 月 定 例 会 採 決 の 結 果

区分	議案の内容	大和	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	大屋	中村	日野原	清水	辰田	亀山	石橋	三上	結果
人事	人権擁護委員候補者の推薦（奈須和子氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	指定管理者の指定（邑南町青少年旅行村）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	指定管理者の指定（邑南町集団宿泊研修施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定（邑南町ほたるの館）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	
	指定管理者の指定（羽須美交流センターほか）	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定（邑南町観光案内所ほか）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定 （邑南町農作業準備休憩施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	指定管理者の指定 （邑南町婦人若者等活動促進施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定（邑南町猪肉加工場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例	町課設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町情報通信施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町営バス条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町国民健康保険直営診療所条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	いわみ温泉活用施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町高齢者等介護予防生活支援事業費用徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

区分	議案の内容	大和	瀧田	平野	和田	宮田	漆谷	大屋	中村	日野原	清水	辰田	亀山	石橋	三上	結果
条例	町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町医療福祉従事者確保奨学基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町水道布設工事等に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町立体育館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	消費税法等の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町債権管理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町債権管理条例の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町森林環境保全対策基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	町第2次総合振興計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町過疎地域自立促進計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町地域保健福祉計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30年度補正予算	町一般会計補正予算第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町国民健康保険事業特別会計補正予算第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町国民健康保険直営診療所事業特別会計補正予算第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町後期高齢者医療事業特別会計補正予算第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町下水道事業特別会計補正予算第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町電気通信事業特別会計補正予算第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町水道事業会計補正予算第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31年度当初予算	町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町国民健康保険直営診療所事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町電気通信事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発委	町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

いっぱん 質問

しごとづくりセンター これまでの効果と今後の展開は

町長 伴走型支援を継続し より効果を高めたい

大和議員
この事業をスタートする時に、私は職員の人材育成についてもお願いした。
現在、センター長の体

日高商工観光課長
センターへ相談にきていただき、センター長のアイデア・アドバイスのにより、実際に売り上げアップや販路拡大、事業所のPR等、成果のあった事業所は多数ある。
大和議員

大和磨美議員
本町のしごとづくりセンターも開所から1年3か月が経過し、相談件数は順調に伸びているとの報告であるが、相談後、実際に売り上げアップなど成果のあった事業所はあるのか。



大和議員
本町の経済を活性化するには「これが最後の手段だ」と大きな期待を寄せ取り入れた事業だ。現時点での評価と今後の展開を町長に聞きたい。

日高商工観光課長
ーT関連の相談については、センター長の指示により職員のみで対応できる場合もあるが、相談業務には対応できない。センター長が相談を受ける際に、状況により商工観光課職員も同席すること、職員がセンターの業務を理解し、能力を身につけることにつながると考える。
f・B・i・zとは委託契約をしており、これまでフォローアップしていた。

大和議員
調不良により相談業務を休止している。センター長の補助として町職員を配置しているが、センター長不在でも相談業務が行えるような人材は育っているか。
また、f・B・i・zからのフォローアップはあるか。

日高商工観光課長
ーT関連の相談については、センター長の指示により職員のみで対応できる場合もあるが、相談業務には対応できない。センター長が相談を受ける際に、状況により商工観光課職員も同席すること、職員がセンターの業務を理解し、能力を身につけることにつながると考える。
f・B・i・zとは委託契約をしており、これまでフォローアップしていた。

石橋町長
センター開設以前は、町内の商工業者は廃業が多く、町商工会からも行政に何とかしてほしいとお願いされるばかりであった。
しかし、29年度には開業数が12件、廃業数が8件と形勢が逆転したという結果が出ている。このようなことは今までなかった。

大和議員
また、この事業を商工会と一緒にやることで、商工会・事業所の意識にも変化が現れている。相談件数も起業数も目標を達成しており、本町のような人口規模の小さな自治体においても成果は大きいと思っている。
反面、町内の地域により相談件数に差が出ているのが課題である。また、事業所の意欲の問題もある。

大和議員
しごとづくりセンターは本町にとって大事なセンターである。この事業は伴走型支援であり、相談者へ寄り添いながら、より効果が高まるよう、内容を強めていきたい。

●道の駅瑞穂再整備計画について
大和議員「道の駅瑞穂再整備計画の今後のスケジュールは」
柳川企画財政課長「31年度に基本設計を作成する。作成については事前に地元説明会を行う」
●本町における児童虐待の現状について
大和議員「本町でも児童虐待があったという報告があり驚いた。児童虐待が疑われる時、私たち町民ができることは何か」
沖福祉課長「通報することとは発見者の義務であり、たとえ空振りであっても構わないので、役場や児童相談所へ通報してほしい」

●住民協議会の設置を
大和議員「幅広い住民の意見を取り入れるため、無作為抽出による住民協議会の設置を提案する」
石橋町長「住民協議会の手法を研究し、取り入れてみたい」

●道の駅瑞穂再整備計画について
大和議員「道の駅瑞穂再整備計画の今後のスケジュールは」
柳川企画財政課長「31年度に基本設計を作成する。作成については事前に地元説明会を行う」
●本町における児童虐待の現状について
大和議員「本町でも児童虐待があったという報告があり驚いた。児童虐待が疑われる時、私たち町民ができることは何か」
沖福祉課長「通報することとは発見者の義務であり、たとえ空振りであっても構わないので、役場や児童相談所へ通報してほしい」

●住民協議会の設置を
大和議員「幅広い住民の意見を取り入れるため、無作為抽出による住民協議会の設置を提案する」
石橋町長「住民協議会の手法を研究し、取り入れてみたい」

●道の駅瑞穂再整備計画について
大和議員「道の駅瑞穂再整備計画の今後のスケジュールは」
柳川企画財政課長「31年度に基本設計を作成する。作成については事前に地元説明会を行う」
●本町における児童虐待の現状について
大和議員「本町でも児童虐待があったという報告があり驚いた。児童虐待が疑われる時、私たち町民ができることは何か」
沖福祉課長「通報することとは発見者の義務であり、たとえ空振りであっても構わないので、役場や児童相談所へ通報してほしい」

漆谷光夫 議員

児童虐待防止の対応は

課長 子どもまるごと相談室を中心に

漆谷光夫議員

全国的に児童虐待が増加し、尊い幼い命が奪われるなど悲惨な事件が社会問題となっている。

本町の児童虐待の課題と対応について問う。

沖福祉課長

児童虐待の対応は早期発見が重要であるが、家庭内で起こることが多く外部からは気づきにくいことがある。本町は日本一の子育て村を掲げ、町職員や特に保健師が産後から初期の段階で関わっているので支援を必要としている状態に早く気づけばと思うが、なかなか難しいことが課題である。

関係機関の情報共有は邑南町要保護児童対策地

域協議会の事務局である子どもまるごと相談室を中心に対応している。

漆谷議員

子育て世代には子どもまるごと相談室や保健師は頼れる存在である。

邑南町要保護児童対策地域協議会の構成と開催状況はどうか。

沖福祉課長

協議会は法務局、警察署、児童相談所、保健所、民生児童委員協議会、高校、養護学校、教育委員会、子どもまるごと相談室などで構成している。

代表者会議は年1回、実務者会議は2か月に1回、個別ケース検討会議は平成30年度に13回開催している。

漆谷議員

児童福祉法では児童虐待の通告は全ての国民に課せられた義務と定められている。

虐待の疑いがあるときは迷わず全国共通ダイヤル189(いちやうく)で児童相談所に通告することが早期発見につながると考える。

児童虐待防止に向け

た対応や周知はどうか。

沖福祉課長

警察や児童相談所と相談しながら、町職員や保健師の関わりが深いので子育ての困りごと、悩みなどに対応していくことが大切だと考える。

189ダイヤルは引き続き周知に努める。

問 日桜ロード通行止
柔軟な対応を

漆谷議員

邑南町日和と江津市桜江町今田を結ぶ「日桜ロード」の冬期通行止めは天候及び道路状況を考慮しながら、柔軟に対応することを検討すべきと考えるがどうか。

答 江津市と協議し
今後に備えたい

土崎建設課長

今冬は降雪も2回と積雪量も想定外で、事前に解放時期を早める協議がなされていないかった。

2月19日の課内会議で解放時期について協議し、解放時期を早める基準を

明確にすることや早期解放中に積雪があった場合の対応など改めて江津市と協議して今後に備えたいと考えている。

漆谷議員

町道のセンターラインや外側線の白線の消失を目にするが安全面で問題はないか。計画的な維持管理が必要ではないか。

土崎建設課長

区画線は車両及び歩行者を適切に誘導する道路構造の補完的な施設である。区画線の消失そのものが直接事故原因とされることは極めて少なく、落石や舗装、路肩の破損のように詳細について把握していない。

通学路や交通量の多い道路を中心に少しずつでも計画的に白線の維持管理に努めていく。

その他の質問

漆谷議員はその他に、子どもたちが町の未来と夢や願いを込めてプレゼンした「おおなんドリーム学びのつどい」について質問をしました。

宮田 博 議員

今後の財政課題は

課長 財政硬直化への対応



宮田博議員

平成31年度一般会計当初予算案では、歳入における交付税減額分等を、主に財政調整基金の取崩しを含む基金繰入金で補填しているが、今後の財政における課題は何か。

柳川企画財政課長

「邑南町行財政改善計画」のとおり、交付税をはじめ財源の縮小が続く。

他方、町所有公共施設の更新費用が、今後40年間で約1433億円見込まれるほか、会計年度任用職員制度への移行により、組織・機構の見直しが必要となっていることなど、財政硬直化への対応が課題となる。

宮田議員

予算分析では、義務的経費のうち、公債費、扶助費は減額するが、人件費については、30年度に引き続き増加している。増加要因と今後の課題は何か。

服部総務課長

増加要因として、①毎年度の人事院勧告によるもの。②早期退職者は欠員とせず、退職者を補う新規採用を行うので、当初段階では二重計上となること。③矢上診療所の看護師・医療事務者の採用等が増加要因となったが、②については、今後、減額補正の予定である。早い時期に行政のスリム化に転じることが課題である。

宮田議員

予算編成では8項目を重点項目に掲げているが、そのうち、次の3項目について問う。

「邑南町総合戦略の総仕上げ」は、どのように事業化するのか。

三上定住促進課長

地区別戦略実現事業は最終年度となり、総仕上げとして、各地区がめざした目標に到達できるよう、中間支援組織による支援を継続する。

「森林資源の活用と森林保全活動の実施」については、どのように事業化するのか。

宮田議員

植田農林振興課長
森林環境譲与税や新たな新森林管理システム等の取り組みで、管理できない森林を林業経営体へ経営を委ねる。

このため、林業経営の集積・集約と、木材資源が有効活用出来る路網整備の計画や、雪害倒木対策に向け、山林・農地・道路との境界に緩衝帯の設置も検討している。

宮田議員
「遊休地活用」は、PFI方式等による活用を掲げているが、どのように事業化するのか。

朝田管財課長
現在24力所の遊休地を有するが、民間のノウハウや資本を生かす仕組みを進める。

また、町内における経済的価値の発揮に貢献できるように進める。

きる相手を誘致することを選択肢に入れる。

問 自治会・集落の整備は

宮田議員

集落戸数の減少で、運営に支障が生じている自治会や、維持・運営に支障をきたす集落もある。自治会・集落の編成等に行政は関与しないのか。

答 当該組織での検討を

三上定住促進課長

自治会の現状や課題については、小規模組織ほど課題があるが、それぞれの組織における検討が大切である。

服部総務課長

集落はその性質上再編は出来ないが、自治会の協議等で、束ねた形での調整は考えられる。

その他の質問

宮田議員は、三江線資産取得に係るリスク等について質問しました。

中村昌史 議員

求める地域人材像の共有を

教育長 共有のための組織づくりを始める



中村昌史議員

持続可能な地域社会を形成する上で学校教育の果たす役割は大きい。そのような中、平成28年度から日貫小学校で「小規模校のメリットを最大限にし、デメリットを最小限にする」取り組みが行われた。この成果と課題をどう捉えているか。

土居教育長

成果の第1に子どもたちの成長がある。地域にあるものを活かした夢が描けるようになった。次に、人と関わる楽しさや、その中でコミュニケーション能力が培われた。3点目に、その関わりを通して学びが広がり、学ぶ楽しさを感じるようになった。これには、子ども

もたちの努力は勿論だが、先生や地域の大人たちの大きな変化が大きく影響している。

課題としては、学校の取り組みを町内外へ出すこと、広げることが足りていないことがある。

中村議員

「山と生きる」をテーマにした日貫小の取り組みは、学校だけでは不可能で、保護者や地域力や密度の濃い学校外とのつながりが不可欠である。こういう手法は、それ

ぞれの地域に応じた課題を見つけることで、町内他校、他地域でも応用可能である。そのための取り組みをどう考えるか。

土居教育長

日貫小でまとめられるリーフレットや、おおなんドリームなどを利用して広めたい。

中村議員

日貫小の例は、町内の他校、他地域にも波及させていただきたい。

全町的に見て、学校・保護者・地域の連携の現状と課題をどう認識しているか。

洲濱学校教育課長

地域学校などを通じた連携の場があるが、長期的な視点で求める人材像までは理解されていない。

中村議員

小学校では地域学校が功を奏しているように思えるが、中学校、高校となるほど地域との関わりの密度が薄れているように感じる。そこで、保・小・中・高という縦軸の連携が必要と考えるが、現状と課題をどう認識しているか。

洲濱学校教育課長

小学校と中学校、中学校と高校など接続する学校間では連携する場があるが、保・小・中・高など多種類の学校等が連携し協議する場はない。

中村議員

子どもたちを「将来の隣人」として育成するためには、縦軸の連携と、それに絡まる学校・保護者・地域の連携を有機的に繋げ、まとめるための組織が必要と考える。教育方針に述べられた「地域とともにある学校」づくりについて詳しい説明

を求める。

土居教育長

縦の繋がりと横の繋がりをもつようにつなげていくかが課題だ。高校卒業時に求められる人材像の共通認識が持てていない。そこで、求める人材像を保護者や地域と共有するための組織づくりを進めなければならぬ。31年度はそういう組織をつくるための検討会を始めたいと考えている。

中村議員

みんなで求める地域人材像を議論し、子どもたちの成長に合わせたそれぞれの年代でのビジョンを議論する。そのような組織を望む。

その他の質問

中村議員は行財政改善に関連して、公共施設の適正な維持管理、行政評価シートの有効活用と外部評価制度の導入について提案を行いました。

また、土砂災害防止法の特別警戒区域の指定について、対応を要請しました。

しごとづくりセンターの検証は

日野原利郎議員

課長 一定の成果を上げている

日高商工観光課長
現在しごとづくりセンターは相談業務を休んでいるが、昨年4月から1月8日までのところ目標300件に対し285件の相談があり、また起業家数は目標5件に対し5件と

日野原利郎議員
しごとづくりセンター開設当初から町民の方からいろいろなご意見もあったし、議会においても議論をした。
このモデルも全国で成果も出ており、本町の産業活性化につなげていきたいと始められた。
1年を経過しこれまでの評価をどうとらえているのか。評価委員会等が開かれたのか。



なっており、ほぼ目標どおりに推移しているといえる。

センター長のアドバイスにより「販路が拡大した」「売上が増加やお客さんが増えた」など具体的な事例も報告されている。また、相談にいられた事業所の聞き取り調査でも9割を超える方が「相談に行つてよかった」との回答を得ており、一定の成果が現れていると評価している。

評価委員会は、昨年末、町長、副町長と本人で3者面談し、平成31年度も引き続き業務を継続することを決定した。

日野原議員
何らかの成果を上げるためには1回の相談では成果は上げられないと思うが1相談者が何回くらい来られているのか。
日高商工観光課長
平均で1相談者が3回から4回来られていることとなっている。

日野原議員

1900万円もの事業費をつぎ込む事業で町民も関心度が高い。相談事例、相談者の感想などを紹介しアピールすることがより成果につながるのではないかと。

業務内容は商工会指導員と全く同様で、お互いに情報を共有して対応することがより有効と考えるが、どう連携してきたのか。

日高商工観光課長

商工会と役場、仕事づくりセンターの連絡会議を毎月1回は開催し、情報共有、各種協議を実施し対応している。また相談内容によりセンターと商工会相互に情報交換をしながら進めている。

日野原議員

今年に入りセンター長が体調不良で相談業務が行われていない。センター長1人に対する期待度が非常に高く、負担が大きすぎるのではないかと。将来にわたって町の

産業振興を進めていくためにも商工会の機能アップを図るため、本事業を商工会に業務委託をする、あるいは商工会独自の指導員増強への支援をするなど、今後そうした進め方を検討する考えはないか。

石橋町長

本町は直営で行っているが、こうした取り組みは商工農等の団体で行うことが適当と考えるし、今後のテーマと考える。国でもこのf・Bizモデルに注目しているようで、今後国県を通じて支援がなされるよう期待もするし、県の関係機関へもアピールしていく。

その他の質問

日野原議員は、この他、米政策について、「石見高原ハープ米きぬむすめ」の生産増に向け、もっと強力に進めべきとの質問をしました。

辰田直久 議員

31年度予算主要事業 効果分析や推進計画の根拠は

町長 町内への情報提供を積極的に行う



辰田直久議員

A級グルメ関連事業の成果を数字等で示す必要はないか。

植田農林振興課長

A級グルメ事業は地域の活動を育もうというもので、食を通じた起業や来訪者が増え、定住にも繋がっていく。この点から、数値目標ありきではない。

辰田議員

この事業の必要性を多くの町民が納得できる成果で示すことが大切ではないか。

石橋町長

町民の理解が進んでいないことは真摯に受け止める。今後は外ばかりでなく、町内に向けて情報発信を積極的に行う。

辰田議員

パラリンピック・フィナンランド事業の今後の目的、目標は何か。

大橋生涯学習課長

障がいや障がい者の理解を深めるためにも、福祉教育の先進地のフィンランド国を選定し、合宿を通じ、福祉的理解が進んだ住みよい町を築こうとするものである。

辰田議員

道の駅瑞穂の再整備の必要性和将来性を示せ。

柳川企画財政課長

建物の老朽化や駐車場の不足があるとともに、交通量も多く、事故が懸念される。広島方面の玄関口として交流人口を促進し、町の賑わいを創出する。

辰田議員

すでに青写真で土地や建物の概略が示されているが、今後の入り込み客の見込み、販売生産物の確保、近隣施設などへの影響を考慮した後に計画を進めるべきではないか。

柳川企画財政課長

道の駅の整備によって

周辺部にも相乗効果が生まれると考えている。

辰田議員

羽須美地域の振興策は、地元の財産をどのように活用するのか。

服部羽須美支所長

三江線の資産活用を含め観光地や文化伝統、スポーツなどを通じ地域振興につながる施策が必要である。また、神楽や祭りなどを通じて子どもたちに故郷への愛着心や誇りを持ってもらい、ひとりでも多く残ってもらえるような取り組みも行いたい。

辰田議員

人や物が点在しているも繋がっていないと意味がない。食堂や特産品販売などの施設等も必要ではないか。

石橋町長

宝物が多い地域であり、地区民と町が一体となった協力関係が今後の発展につながる。

その他の質問

●定住・人口対策について

辰田議員

定住・人口対策の検証と方向性について、UターンとIターンとで待遇の違いはないか。

三上定住促進課長

基本的にはU・Iターンの区別はない。制度や施策によって誤解を受ける部分があるかもしれない。

辰田議員

全国的なこの重要課題の基本的な方向性は、三上定住促進課長

「日本一の子育て村」

の施策は、邑南町で生まれて小中高と育っていく子どもたちや家族を地域全体で支援することが基本であり、活発な活動を通じて人口維持に向けた取り組みを推進する。

●特殊詐欺対策について

辰田議員

多発、凶悪化している特殊詐欺対策に町が相談窓口を設置する考えはないか。

しごとづくりセンター 抜本的見直しを

亀山和巳 議員

町長 応援体制を要請し事態を乗り切る



亀山和巳議員

しごとづくりセンター長の体調不良が原因で、3か月にもおよび長期間相談業務を休止する事態となったことを、いかにとらえているのか。

具体的には、センター長の今の身分、報酬はどうなっているのか。

日高商工観光課長

センター長不在で相談業務などができないので1月8日から休止し、町民の皆さんにご迷惑をおかけしている状況で、早い復帰を待っている。

センター長取扱規則に定める職務ができないので、その間は、報酬の支給を止めている。

亀山議員

センター長は病気療養

中として扱い、センターでの職務ができない状況でも、任用を取り消さず、非常勤特別職の身分を継続している。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例によれば、報酬の支給を止めることはできないものと私は解釈する。

服部総務課長

地方財務実務提要の例示によって対処したが、その判断の適否を県へ問い合わせている。その結果で最終判断したい。

亀山議員

しっかりした精査、検証を求める。

また、今のしごとづくりセンターのシステムでは同様の事態が再発する可能性が残る。本事業を継続しようとするなら、危機管理の観点からも抜本的な見直しが必要だ。

石橋町長

機構を変えるよりも、今回のような事態になったときの応援態勢を、相手方に要請していく。

問 三江線資産活用の積極推進を

亀山議員

三江線廃止に伴う鉄道資産譲渡・活用について財政的将来負担への関心が町内で高まっている。譲渡を受けた場合のリスクと財政負担の見込みはどうか。

三上定住促進課長

宇都井駅等は、町が地域振興に活用することを条件に、JR等から一定額の支援を受けることを見込んでいます。

これらは他の公共施設にはない財源であり、対応する費用のすべてがまかなえれば、リスクはほぼゼロに近いといえる。

亀山議員

町が現在支出している町内観光施設の管理、運営費の状況はどうか。

日高商工観光課長

29年度決算では金額が大いに順に、香木の森公園が2248万円、はすみ温水プールを含む3施設が815万円、青少年旅行村が593万円、断

魚溪が249万円となっている。

亀山議員

町内の観光施設は、公共の施設として毎年管理費や修繕費として町費をかけている。

三江線の鉄道遺産はただの観光施設ではなく、長い歴史と羽須美地域の皆さんの思い入れが深い特別な施設だと思う。

また、これまで地域主体で、県内外の多くの人々を巻き込んだ施設活用実証実験からも、負の遺産ではなく、地方創生のレガシー（遺産）としてとらえるべきだ。

答 地方創生第2弾として積極的に支援する

石橋町長

国において検討中の、第2期まち・ひと・しごと総合戦略を見込んで、この鉄道資産を活かした活動を第2期邑南町まち・ひと・しごと創生事業として、国・県・JRに協力を求め、支援していきたい。

議会に関するアンケート

ただいま集計中!!

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会で、さまざまな観点から町民のみなさまの負託にこたえられる議会になるよう協議してきました。その一環として、町民のみなさまを対象にしたアンケートを年度末ではありましたが、実施しました。

わかりやすいアンケートになるよう内容などを協議、工夫しました。

5月には議会内の委員会構成が変更になることもあり、次年度に持ち越すことはできず、本年度の内に結果を出す方針としました。

そのため、議会事務局の手を借りて、特別委員会委員が配布のための封筒詰め作業をしました。

みなさまへの配布は町広報等の配布に合わせ、集落の行政協力員の方に



委員と事務局で1枚ずつ丁寧に封筒詰め



お願いしました。

また、回収についても行政協力員のみなさんをはじめ、公民館職員のみなさんにもご協力いただき、3月末現在約1500通の回収をすることができました。

このことは、多くのみなさま方のご協力による成果であると感じたいしますとともに、特別委員会としてみなさまのご意見を反映させ、議会改革を進める中で活かしていきたいと思えます。

祝 自治功労表彰

全国町村議会議長会より表彰

山中康樹議員

島根県町村議会議長会より表彰

石橋純二議員

清水優文議員



表彰式での石橋議員(中段右2番目)、清水議員(中段右1番目)

山中議員(前段中央)

前号の訂正

議会だよりおおなん64号4ページにて掲載しました記事の一部に誤解をまねく表現がありましたので訂正いたします。

学校給食費新年度より値上げ

(誤)

改定後は、小学校・月額5300円、中学校・月額6000円となります。

(正)

改定後の1食あたりの単価は、小学校265円、中学校300円となります。

議会意見交換会 第2弾 報告

邑南町議会では、議会基本条例で、「町民と意見交換の場を多様に設けなければならない」と定めており、毎年町の皆さんとの意見交換会を開催しています。

今年度は、第1弾として12地区の公民館へ議員がグループに分かれて出かけ、平日夜に対面式で開催しました。

第2弾は、行事の少ない冬時期の1、2月に各地域に全議員で出かけました。

まずはじめに、議会の審議の進め方について、スライドや実際の質疑や討論の音声を使って説明をし、その後少人数のグループに分かれ円座となり、膝を突き合わせて約1時間の意見交換をしました。どの会場でも時間があつという間に過ぎていくほどの熱い議論を交わしていただきました。

参加していただいた皆さんのご意見は、議員の一般質問や議会活動の向上に活かしていきます。

今後公民館ごとの意見交換会は継続しながら、多様な意見交換ができるよう工夫していきます。

また、議会では出前講座として、皆さんの自治会やグループのもとに出かけることも可能です。お気軽に議会事務局までご相談ください。

開催日時と参加者数

1月27日(日)
阿須那公民館 16名

2月9日(土)
田所公民館 18名

2月10日(日)
中野公民館 13名



グループごとに円座となり
ざっくばらんに意見交換

【阿須那公民館】

●フィンランドゴールボール合宿招致は町に必要なのか。メリットがあるのか。今ある事業がきつと予算執行がされているか、議会は目をむけてつっこんで意見を言っているか。
●民生委員として高齢者宅に安否確認するが、除雪が間に合っていない。除雪の出動時間が遅いのではないか。
●議会広報について、反

対討論など詳しく知りたい。紙面の工夫をお願いする。
●小・中学校の統廃合はどのような方向になっているのか。
●三江線資産活用について、町民の理解を得るために積極的にPRしていくべきだ。宇都井駅、口羽駅についても将来的に採算性を考え慎重に考えていくべきだ。トンネルの利活用はどうか。トロッコについては、口羽駅宇都井駅間を通して活用

し、人を呼び込むことで効果があるのではないのか。

●集落・自治会再編は地域での話が進まない。町から地域への提案もするよう努力してほしい。

●A級グルメについて羽須美地域では効果や実感として、イメージがもてない。全町に波及するような仕掛けも必要ではないか。

●羽須美振興室について、中身が見えない。どういうことをされているのかわからない。

●農業だけではなかなか難しい。半農半Xの取り組みを進めていくべきだ。

●代替バスについて、宇都井口羽線の利用が少なく見直しは出来ないか。

●意見交換の開催の在り方をもう少し考えてはどうか。若い人の参加者が少ない、新しい風が吹くこともある。配布資料がない。

【田所公民館】

●三江線の資産について。実証実験の結果が出たが、議会として執行部からの意見、資料をもとに慎重に判断してほしい。

●広島県と島根県側で賃金が全く違う。町内から働き手が流れてしまつてではないか。

●道の駅瑞穂の進捗状況についてどうなっているか。状況がわかり次第その都度町民に説明してほ

しい。住民の思いが反映されるようにして欲しい。

●行財政改善について、方向性が決まった段階で町民に早めに知らせてほしい。議会も責任をもつて進めるように。

●危険な空き家が散見される。町の財源で撤去できないか。

●井戸の設置には補助制度があるが、更新に対して補助制度がない。上水に比べて公平性がない。

●地区別戦略は31年度で

終了する。未完成で終わる可能性もあり、事業の継続性が必要ではないか。

●フィンランド派遣事業について、町外に通学している生徒は対象外になっている。一緒にできないか。

●現在の小中学校の配置は適正な規模なのか。統廃合を含め議論を進める必要があるのではないか。

●ふるさと寄附はどのくらいあるのか。活用策を考えてほしい。

●フィンランド、JRの資産譲渡、矢上高校の存続等、議員もしくは議会が真剣に話し合い、方向性を出すべきではないか。

本音トークが出るのも円座ならではの



少人数でしたが
そのぶんじっくりと話ことができました

【中野公民館】

●道の駅瑞穂の改修よりも、子どもの教育である石見中学校の改築を早くしてほしい。

●児童クラブについて建物を含めもっと充実してほしい。

●高齢者の運転免許証の返納について、行政もすすめて、補助金等も考えてほしい。

●しごとづくりセンターを始めたが、今の状況はどうなっているのか。今

後も必要なのか。

●少子高齢化が進むなかで学校の再編を考えるべきではないか。学校のない地域は、活動・活性化に大きな影響が出る。保護者と地域住民の考え方の差が出る。

●農地保全・維持について、行政からの支援は大規模農家・法人に集中している。小規模農家を見捨てているのではないか。

●邑智病院の経営内容について、町民に分かるよ

うな説明が必要ではないか。

●有害鳥獣対策は大きな問題で地域は苦慮している。行政の積極的な支援をお願いする。

●日桜ロードについて、冬季閉鎖中だが、今年のような暖冬の場合には閉鎖の必要があるのか。臨機応変に対応できないか。

●町内にあるため池・堤の管理点検はどうなっているか。住民任せでなく行政の方できちんと対応できないか。

●町職員の数について。合併して15年たったが、数はどうなっているか。

●町政に関心のある方が少ないのが気になる。意見交換などもっと身近なところへ議員からも出かけ、対話を広げてほしい。

●議員定数については、今のままでいい。報酬については生活できるよう上げてもいいのではないか。

邑南町のへそ井原から健康と元気を発信

井原地区別戦略

事務局
神田恵介さん

あなたの
声

地区別戦略について事務局より井原地区の取り組みについて紹介します。

井原は邑南町の中心部（へそ）に位置し南北に井原川が流れ川下には名勝断魚溪があります。

それに沿って国道261号線が通り、街中には「右大社道温泉津道」「左浜田道有福道」の石標もあり昔から交通の要所となっています。

その井原から地区別戦略で「健康＋元気」を全町に発信しています。

①歩いて健康「ノルディックウォーキング」



荻原健司さんを迎えてノルディックウォーキング

フィンランド発祥の2本のポールを押して歩く健康づくりスポーツ「ノルディックウォーキング」をいち早く取り入れ全町に広げています。毎月最終金曜日を定例日として活動し、年1回は金メダリスト荻原健司さんとも一緒に邑南町を歩いています。

②食べて健康「そば」

邑南町に古来あつた健康食そばに注目し、そばづくり同好会を結成しました。「雲井そば道場」を起点としそば打ち教室を開くなど活動しています。定例会を毎月第三土曜日とし、出張そば打ち

講師（実技指導など）も承ります。

③頭の健康「井原を知る勉強会」

大正6年発行の「井原村誌」以降の空白の時代を生きた長老の皆さん方に語り部として井原の体験談を話していただき、それを活字に起こし冊子として残しています。この活動は県からも認められ県知事奨励賞をいただきました。この勉強会で井原地区は縄文の昔から存在していたということを知りました。



雲井そば道場にて
打ちたてのそばはおいしいね

④元気発信「いばらMIRARAクラブ」

今年の新元号年度からはこれまでの「健康」発信に加え井原若衆が「いばらMIRARAクラブ」を立ち上げ「元気」を井原から発信することとしています。ご期待ください。

編集室の窓

- ▼日貫・山崎邸改修完了
写真を表紙に屋根の葺き替え作業を手伝った日貫っ子が笑顔でVサイン
- ▼平成31年度当初予算
テーマを「つなげー民の力へ」で114億あまりで可決。これまで以上に協働でまちづくり推進
- ▼行財政改善実施計画が示された。具体的な行動計画が実行されることを期待しチェックしたい
- ▼道の駅瑞穂再整備計画
今後のスケジュール、執行部より説明。基本計画を策定した。今後は基本設計を地元説明会等を得て策定すること。急ぐとも慎重の上、慎重に
- ▼三江線資産取得議員間
討議で激論。議員全員が発言。個々の思い、継続性、負の遺産等々、時間をかけて議論。町長の思いを支持する議員が多数
- ▼私たち議会広報委員会
最後の広報編集。2年間ありがとうございました
(清水優文記)